



## 2018年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年7月25日

上場会社名 伊勢化学工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4107 URL <http://www.isechem.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役兼社長執行役員 (氏名) 藤野 隆  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼管理本部長 (氏名) 小林 正昭 (TEL) 03-3242-0520  
 四半期報告書提出予定日 2018年7月31日 配当支払開始予定日 2018年9月3日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2018年12月期第2四半期の連結業績 (2018年1月1日~2018年6月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年12月期第2四半期	7,075	3.7	569	610.6	560	555.8	342	—
2017年12月期第2四半期	6,826	△8.6	80	△88.4	85	△87.5	△18	—

(注) 包括利益 2018年12月期第2四半期 277百万円 (-%) 2017年12月期第2四半期 △131百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2018年12月期第2四半期	67.18	—
2017年12月期第2四半期	△3.61	—

※当社は、2018年7月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しています。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しています。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2018年12月期第2四半期	28,669	23,849	83.2
2017年12月期	27,997	23,726	84.7

(参考) 自己資本 2018年12月期第2四半期 23,849百万円 2017年12月期 23,726百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2017年12月期	—	6.00	—	6.00	12.00
2018年12月期	—	6.00	—	—	—
2018年12月期(予想)	—	—	—	30.00	—

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※当社は、2018年7月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施したため、2018年12月期(予想)の1株当たり期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は、「—」として記載しています。

ご参考までに株式併合を考慮しない場合の2018年12月期(予想)の期末配当金は6円となり、1株当たり年間配当金は12円となります。

### 3. 2018年12月期の連結業績予想 (2018年1月1日~2018年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,800	3.1	1,000	145.7	1,000	140.2	500	354.8	98.01

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※2018年12月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、株式併合の影響を考慮しています。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 ー社 (社名) 、除外 ー社 (社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
 詳細は、四半期決算短信 (添付資料) 7 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2018 年 12 月期 2Q	5,135,135 株	2017 年 12 月期	5,135,135 株
② 期末自己株式数	2018 年 12 月期 2Q	34,205 株	2017 年 12 月期	33,709 株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2018 年 12 月期 2Q	5,101,208 株	2017 年 12 月期 2Q	5,102,457 株

※当社は、2018 年 7 月 1 日付で普通株式 5 株につき 1 株の割合で株式併合を実施しています。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数 (自己株式を含む)、期末自己株式数及び期中平均株式数 (四半期累計) を算定しています。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、2018 年 2 月 1 日に公表いたしました、「2017 年 12 月期 決算短信」に記載の 2018 年 12 月期の連結業績予想 (2018 年 1 月 1 日～2018 年 12 月 31 日) に変更はありません。なお、当該業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づいて算出しておりますが、需要動向の変化等多分に不確定な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績は種々の要素により現時点での予想と乖離する可能性がありますのでご承知おきください。

(株式併合について)

当社は、2018 年 3 月 28 日開催の第 97 回定時株主総会において、株式併合について承認可決されたことを受け、2018 年 7 月 1 日を効力発生日として、普通株式 5 株につき 1 株の割合で株式併合を実施しています。これに伴い、発行済株式数 (自己株式を含む) は、株式併合前の 25,675,675 株から株式併合後の 5,135,135 株へ減少しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(四半期連結損益計算書)	
(第2四半期連結累計期間) .....	5
(四半期連結包括利益計算書)	
(第2四半期連結累計期間) .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2018年1月1日～2018年6月30日)における当社グループをとり巻く環境は、国内では緩やかな景気回復基調が続いており、世界経済も全般的に回復基調を維持しておりますが、米国の経済政策運営や新興国経済の動向、為替相場の動向など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況におきまして、当社グループは、積極的な国内外の販売活動を実施し、生産性の向上に努めました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は70億7千5百万円(前年同期比3.7%増)、営業利益は5億6千9百万円(同610.6%増)、経常利益は5億6千万円(同555.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億4千2百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失1千8百万円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### [ヨウ素及び天然ガス事業]

ヨウ素及び天然ガス事業では、ヨウ素製品の販売数量が堅調に推移したことに加え、ヨウ素の国際市況が回復基調で推移したことにより、売上高は前年同期を上回りました。損益面では、販売数量の増加や操業度の上昇等により営業利益は前年同期を上回りました。

この結果、売上高は61億1千8百万円(前年同期比2.4%増)、営業利益は6億2千1百万円(前年同期比871.5%増)となりました。

#### [金属化合物事業]

金属化合物事業では、主力の塩化ニッケルの販売数量が堅調に推移したことに加え、金属の国際市況が上昇したことにより、売上高は前年同期を上回りました。損益面では、品種構成の影響や設備増強に向けての工事による操業度低下等により営業損失の計上となりました。

この結果、売上高は9億5千7百万円(前年同期比12.5%増)、営業損失は5千1百万円(前年同期は営業利益1千6百万円)となりました。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,966	2,124
受取手形及び売掛金	3,913	3,665
商品及び製品	2,100	2,094
仕掛品	313	287
原材料及び貯蔵品	951	929
短期貸付金	7,352	8,256
その他	151	209
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	16,747	17,565
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,806	3,621
機械装置及び運搬具（純額）	3,499	3,338
土地	1,737	1,737
建設仮勘定	546	755
その他（純額）	236	209
有形固定資産合計	9,826	9,662
無形固定資産		
その他	348	392
無形固定資産合計	348	392
投資その他の資産		
投資有価証券	639	624
繰延税金資産	262	266
その他	173	157
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	1,074	1,048
固定資産合計	11,249	11,103
資産合計	27,997	28,669

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,173	1,174
短期借入金	600	600
未払金	748	827
未払法人税等	83	245
賞与引当金	112	113
役員賞与引当金	5	2
環境対策引当金	1	1
その他	299	538
流動負債合計	3,024	3,503
固定負債		
退職給付に係る負債	803	876
環境対策引当金	210	210
資産除去債務	195	194
その他	37	35
固定負債合計	1,246	1,316
負債合計	4,270	4,819
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,599	3,599
資本剰余金	3,931	3,931
利益剰余金	16,437	16,627
自己株式	△112	△114
株主資本合計	23,856	24,044
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13	3
為替換算調整勘定	△45	△102
退職給付に係る調整累計額	△98	△96
その他の包括利益累計額合計	△130	△195
純資産合計	23,726	23,849
負債純資産合計	27,997	28,669

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年1月1日 至 2017年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)
売上高	6,826	7,075
売上原価	5,949	5,760
売上総利益	876	1,314
販売費及び一般管理費	796	745
営業利益	80	569
営業外収益		
受取利息	6	7
受取配当金	0	0
その他	0	0
営業外収益合計	7	8
営業外費用		
支払利息	0	0
持分法による投資損失	1	0
為替差損	0	16
営業外費用合計	2	17
経常利益	85	560
特別損失		
固定資産除却損	22	10
その他	0	—
特別損失合計	22	10
税金等調整前四半期純利益	62	550
法人税等	81	207
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△18	342
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△18	342

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年1月1日 至 2017年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△18	342
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	△9
為替換算調整勘定	△116	△57
退職給付に係る調整額	2	2
その他の包括利益合計	△112	△65
四半期包括利益	△131	277
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△131	277
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(原価差異の繰延処理)

定期的な修繕が特定の四半期に行われるために発生する原価差異は、予定原価が年間を基礎に設定されており、原価計算期間末までに解消が見込まれるため、当該原価差異を流動負債として繰り延べております。

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自2017年1月1日至2017年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	ヨウ素及び 天然ガス事業	金属化合物 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,975	850	6,826	—	6,826
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	(—)	—
計	5,975	850	6,826	(—)	6,826
セグメント利益	63	16	80	—	80

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2018年1月1日至2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	ヨウ素及び 天然ガス事業	金属化合物 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,118	957	7,075	—	7,075
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	(—)	—
計	6,118	957	7,075	(—)	7,075
セグメント利益又は損失(△)	621	△51	569	—	569

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。